

横浜港南本牧ふ頭地区 国際海上コンテナターミナル整備事業

費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減	39	千円/TEU・年	ターミナル新設による輸送コスト削減	213.4	億円/年
	輸送コストの削減	36	千円/TEU・年	海外トランシップによる輸送コスト増大回避	44.2	億円/年
耐震便益	輸送コストの削減	637	円/TEU・年	震災時の輸送コスト増大回避	8.4	億円/年

* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(平成23年)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(水深16m)(耐震)、岸壁(水深18m)(耐震)、航路・泊地(-18m)、泊地(-18m)、護岸(防波)、荷捌き地、荷役機械、上屋